

2023 年第 31 週(7 月 31 日～8 月 6 日)

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

感染症発生動向調査

名古屋市感染症発生動向調査情報

名古屋市感染症情報センター(名古屋市衛生研究所疫学情報部)

2023 年(令和 5 年) 8 月 9 日作成

<https://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/15-7-3-3-0-0-0-0-0-0-0.html>

◆名古屋市の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者報告数

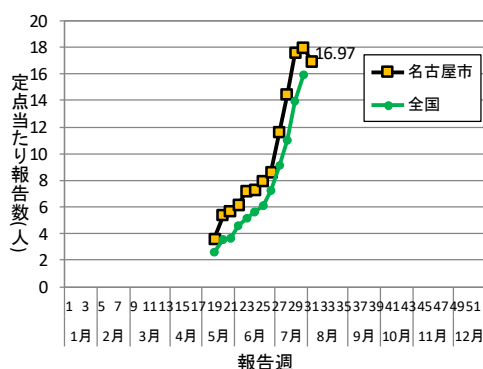
本市における 2023 年第 31 週(7 月 31 日～8 月 6 日)の市内 70 定点医療機関からの新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者報告数は 1188 人で、定点あたり報告数は 16.97 人となり、前週比 0.94 倍に減少しました。

患者報告数および定点あたり報告数(名古屋市:2023年)

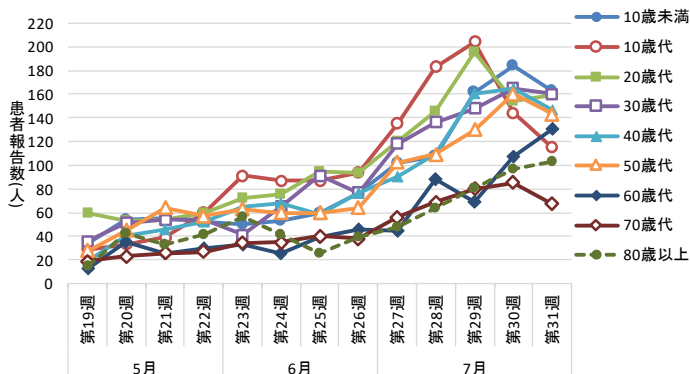
	第19週 (5/8 ～ 5/14)	第20週 (5/15 ～ 5/21)	第21週 (5/22 ～ 5/28)	第22週 (5/29 ～ 6/4)	第23週 (6/5 ～ 6/11)	第24週 (6/12 ～ 6/18)	第25週 (6/19 ～ 6/25)	第26週 (6/26 ～ 7/2)	第27週 (7/3 ～ 7/9)	第28週 (7/10 ～ 7/16)	第29週 (7/17 ～ 7/23)	第30週 (7/24 ～ 7/30)	第31週 (7/31 ～ 8/6)	第32週 (8/7 ～ 8/13)	第33週 (8/14 ～ 8/20)	第34週 (8/21 ～ 8/27)
患者報告数(人)	253	377	397	433	505	509	556	604	816	1011	1229	1261	1188	-	-	-
定点あたり報告数(人)	3.61	5.39	5.67	6.19	7.21	7.27	7.94	8.63	11.66	14.44	17.56	18.01	16.97	-	-	-

※報告数は速報値でありその後の訂正などにより、変更される場合があります

定点あたり報告数の推移(2023年)



年齢階級別報告数の推移(2023年:名古屋市)



※名古屋市は2023年第31週、全国は2023年第30週までの報告数

◆新型コロナウイルス感染症に関する情報等

新型コロナウイルス感染症に関する相談や発生状況等の情報については下記のリンク等をご覧ください。

- 新型コロナウイルス感染症について(名古屋市)
<https://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000124556.html>
- 愛知県新型コロナウイルス感染症対策サイト(愛知県)
<https://www.pref.aichi.jp/site/covid19-aichi/>
- 新型コロナウイルス感染症について(厚生労働省)
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

◆本市の状況

〔定点把握感染症の発生動向〕

- 特記すべきことなし。

〔1 類～5 類全数把握感染症の届出〕

診断週	感染症 の分類	疾患	発生数	発生の概要
2023 年 第 31 週	2 類	結核	9	男性、58 歳、結核性胸膜炎 女性、89 歳、結核性胸膜炎 女性、52 歳、縦隔リンパ節結核 男性、45 歳、脳結核腫 男性、49 歳、肺結核 男性、46 歳、肺結核 女性、93 歳、肺結核 男性、70 歳、肺結核 男性、78 歳、無症状病原体保有者
2023 年 第 31 週	3 類	腸管出血性大腸菌感染症	6	男性、3 歳、感染地域：国内、血清型・毒性 型：O157 ペロ毒素 VT1・VT2 女性、27 歳、感染地域：国内、血清型・毒性 型：O157 ペロ毒素 VT1・VT2 男性、21 歳、感染地域：不明、血清型・毒性 型：O157 ペロ毒素 VT2 女性、2 歳、感染地域：国内、血清型・毒性 型：O157 ペロ毒素 VT1・VT2 男性、27 歳、感染地域：国内、血清型・毒性 型：O157 ペロ毒素 VT1・VT2 男性、21 歳、感染地域：国内、血清型・毒性 型：O157 ペロ毒素 VT1・VT2
2023 年 第 31 週	5 類	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	男性、69 歳、菌検出検体：尿、菌種： <i>Klebsiella aerogenes</i> 、感染原因：不明
2023 年 第 31 週	5 類	後天性免疫不全症候群（H I V 感染症を含む）	1	男性、60 歳、無症状病原体保有者、感染経路：同性間性的接触、感染地域：国内

NIDWR Nagoya Infectious Diseases Weekly Report

2023 年 第 31 週	5 類	侵襲性肺炎球菌感染症	1	女性、88 歳、菌検出検体：血液
2023 年 第 31 週	5 類	梅毒	10	男性、38 歳、早期顕症梅毒 1 期 男性、29 歳、早期顕症梅毒 1 期 男性、55 歳、早期顕症梅毒 1 期 女性、24 歳、早期顕症梅毒 1 期 男性、30 歳、早期顕症梅毒 1 期 女性、20 歳、早期顕症梅毒 2 期 女性、50 歳、早期顕症梅毒 2 期 男性、54 歳、早期顕症梅毒 2 期 女性、21 歳、無症状病原体保有者 男性、34 歳、無症状病原体保有者

※ 感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを表示。

（報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります）

報告日が遅れたため先週号までに掲載されなかった 1 類から 5 類全数報告感染症。

診断週	感染症 の分類	疾患	発生数	発生の概要
2023 年 第 30 週	5 類	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	男性、69 歳、菌検出検体：左腎盂尿、菌種： <i>Klebsiella pneumoniae</i> 、感染原因：医療器具 関連感染(尿路カテーテル感染)
2023 年 第 30 週	5 類	後天性免疫不全症候群（H I V 感染症を含む）	1	男性、34 歳、無症状病原体保有者、感染経路： 異性間性的接触、感染地域：国内
2023 年 第 30 週	5 類	梅毒	3	男性、46 歳、早期顕症梅毒 1 期 女性、21 歳、早期顕症梅毒 1 期 女性、89 歳、無症状病原体保有者
2023 年 第 29 週	5 類	梅毒	1	女性、19 歳、無症状病原体保有者

※ 感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを表示。

（報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります）

〔2023 年 1 類～5 類全数把握感染症の届出報告数の累計〕

感染症の分類	疾患	累計
1 類感染症	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、他	0
2 類感染症	急性灰白髄炎	0
2 類感染症	結核（潜在性結核感染症を含む）	243（91）
2 類感染症	ジフテリア	0
2 類感染症	重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 SARS コロナウイルスであるものに限る）	0
2 類感染症	中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 MERS コロナウイルスであるものに限る）	0
2 類感染症	鳥インフルエンザ（H5N1）	0
2 類感染症	鳥インフルエンザ（H7N9）	0
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症（病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和 2 年 1 月に、中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）であるものに限る。） ※令和 5 年 5 月 7 日まで。	77775
3 類感染症	コレラ	0
3 類感染症	細菌性赤痢	0
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	24（4）
3 類感染症	腸チフス	0
3 類感染症	パラチフス	2（1）
4 類感染症	デング熱	2
4 類感染症	E 型肝炎	4
4 類感染症	エムボックス	2
4 類感染症	マラリア	1
4 類感染症	レジオネラ症	16
5 類感染症	ウイルス性肝炎	4
5 類感染症	アメーバ赤痢	6
5 類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	36
5 類感染症	急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く）	7
5 類感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病	2
5 類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	15
5 類感染症	後天性免疫不全症候群（H I V 感染症を含む）	54（41）
5 類感染症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	9

NIDWR

Nagoya Infectious Diseases Weekly Report

5 類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	26
5 類感染症	水痘（入院例に限る）	3
5 類感染症	梅毒	320（86）
5 類感染症	百日咳	6

累計は 2023 年第 1 週からの診断週による累計、（ ）内は無症状病原体保有者累計数を再掲、[]内は疑似症累計数を再掲、
【 】内は感染症死亡者の死体累計数を再掲、〔 〕内は感染症死亡疑い者の死体累計数を再掲、〈 〉内は後天性免疫不全症候
群の「その他」累計数を再掲。対象疾患が多いため、4 類及び 5 類感染症は報告のあった疾患のみを掲載。
（報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります）

〔愛知県麻疹・風しん患者調査事業について〕

平成 20 年 1 月 1 日から、麻疹・風しんは全数把握対象疾患となりましたが、愛知県内では、感染症法に基づく届出では把握できない情報を得るため、医師会と協力して「愛知県麻疹・風しん患者調査事業」を実施しており、名古屋市も参加しています。調査結果については下記のリンク先（愛知県衛生研究所ホームページの中のコンテンツ <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl.html>）をご覧ください。

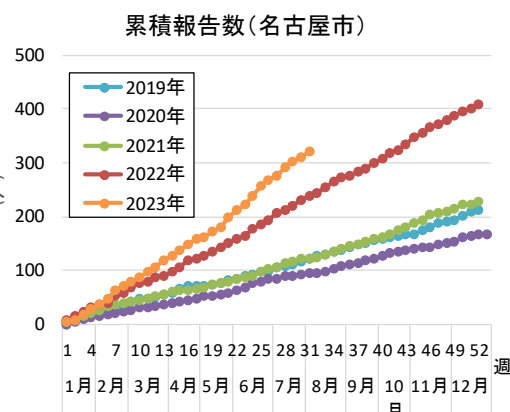
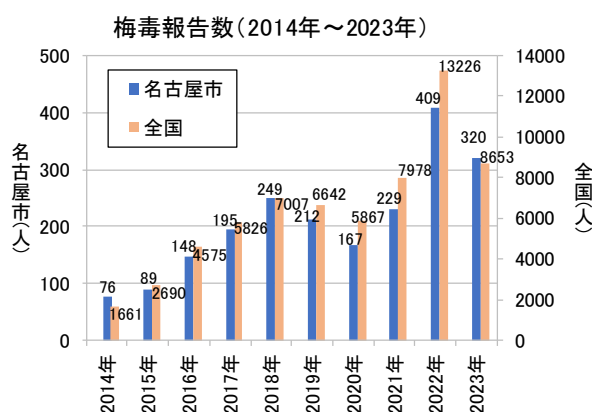
〔定点医療機関からの情報〕

定点医療機関からは検査結果や患者発生状況等がコメント情報として報告されています。定点医療機関から報告されたコメント情報は下記のとおりです。なお、コメント情報のなかった定点医療機関については掲載しておりません。

インフルエンザ A 型 3 人、B 型 2 人	定点医療機関（西区）
インフルエンザ A 型 3 名	定点医療機関（中村区）
ヒトメタニューモウィルス感染ですが 7 月 31 日 5 人、 8 月 1 日 1 人、8 月 4 日 1 人陽性者でした。	定点医療機関（中区）
インフルエンザ A 型 1 名	定点医療機関（昭和区）
大人サルモネラ感染症で 1 名入院	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザ A 型 男性 8 名 A 型 女性 4 名	定点医療機関（南区）

〔名古屋市の梅毒報告数〕

- 近年、梅毒の患者報告数が全国的に増加しており、本市においても2023年（令和5年）の報告数は、1999年以降で最多となった昨年を同週比で上回るペースで増加しています。
- 2023年第31週（8月6日）までに本市では320人の患者が報告されており、男性では20～50歳代で多く、女性では20歳代で特に報告数が増加しています。
- 梅毒は、梅毒トレポネーマという病原体による感染症で、感染経路は感染部位と粘膜や皮膚との直接接触（性的接触）です。
- 梅毒の症状は、時間の経過とともに局所から全身に広がっていきます。症状が一時的に消失しても治療を行わないと病気は進行します。また、感染しても症状が現れない場合や治っても再度感染することがあります。
- 妊婦が梅毒に感染すると、胎盤を通して胎児も感染し、死産や早産、先天梅毒を起こす可能性があります。
- 梅毒の治療には抗生物質が用いられます。



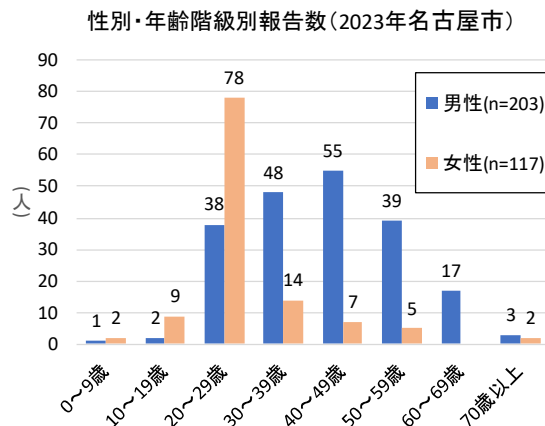
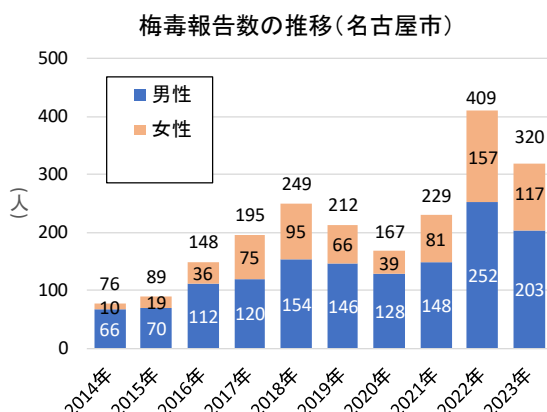
梅毒報告数の推移

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
名古屋市	76	89	148	195	249	212	167	229	409※3	320※1
全国	1661	2690	4575	5826	7007	6642	5867	7978	13226※3	8653※2

※1 第31週(8月6日)まで

※2 第30週(7月30日)まで

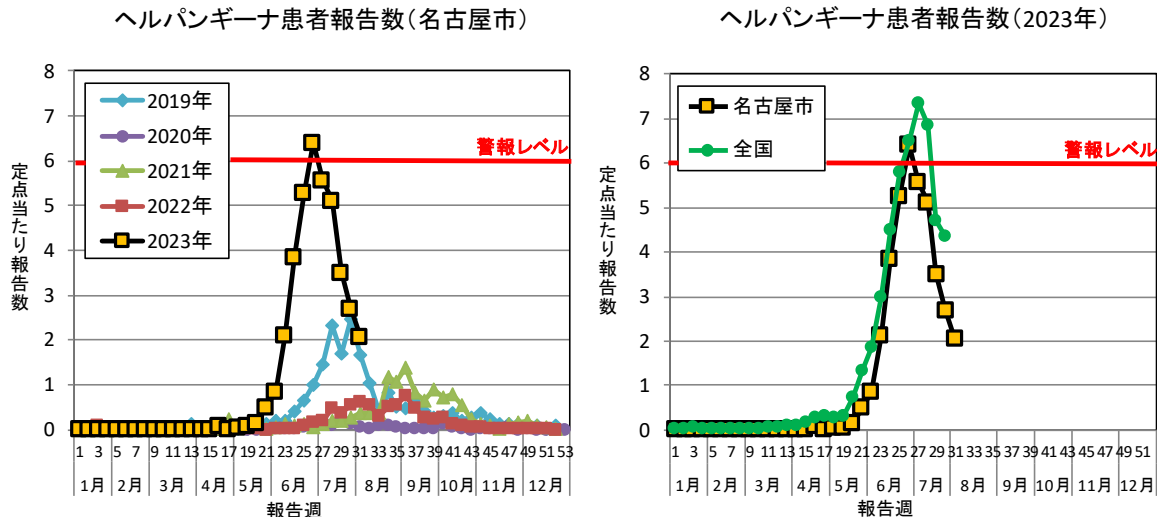
※3 報告数は速報値



〔トピックス：ヘルパンギーナ〕

- ヘルパンギーナが全国的に流行しており、本市の2023年第31週（7月31日～8月6日）の市内70定点からのヘルパンギーナ患者報告数は145人、定点当たり患者報告数は2.07人で前週比0.8倍に減少しました。
- 愛知県では令和5年7月6日に、国立感染症研究所が定める警報の指標である「6」を上回ったことから、ヘルパンギーナ警報が発令されました。
- ヘルパンギーナは、コクサッキーウイルスA群を主な原因とする感染症です。潜伏期間は2日から4日であり、乳幼児に多く、夏季に流行する代表的な疾患です。
- 感染経路は、くしゃみ等の飛沫感染のほか、汚染された手などを介した接触感染や便に排泄されたウイルスによる経口感染によって感染します。
- 主な症状では、突然の高熱や咽頭痛がみられ、口の中に水疱が現れます。水疱が破れると痛みが伴い、口の痛みから食事や水分が十分にとれず、脱水症状を起こすことがあるため、水分補給を心がけることが大切です。治療は、対症療法が中心となります。
- 症状がおさまった後も、2週間から4週間程度は便などにウイルスが排泄されるため、患者との接触を避け、トイレの後やおむつ交換の後、食事の前の手洗いを徹底しましょう。

〔名古屋市のヘルパンギーナ患者報告数：2023年8月9日作成〕



※名古屋市は2023年第31週、全国は2023年第30週までの報告数

定点当たり患者報告数(2023年)

	第24週 (6/12～ 6/18)	第25週 (6/19～ 6/25)	第26週 (6/26～ 7/2)	第27週 (7/3～ 7/9)	第28週 (7/10～ 7/16)	第29週 (7/17～ 7/23)	第30週 (7/24～ 7/30)	第31週 (7/31～ 8/6)
名古屋市	3.86	5.26	6.40	5.56	5.11	3.50	2.70	2.07
愛知県	4.51	5.63	6.49	6.49	6.04	3.85	3.27	—
全国	4.50	5.79	6.48	7.32	6.86	4.71	4.34	—

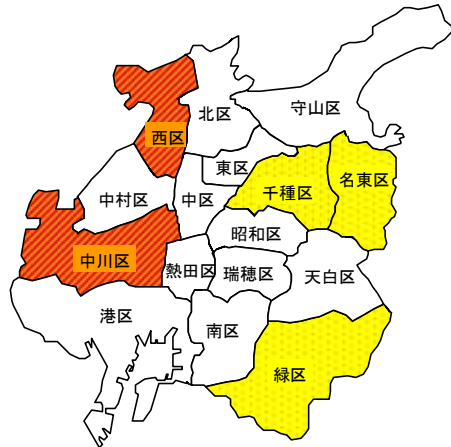
※報告数は各週公表時における速報値

報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります

各区の患者報告数(第31週)

	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	合計
市内70定点からの患者報告数(人)	12	2	5	64	1	4	0	0	0	26	1	1	1	12	14	2	145
定点当たり患者報告数(人)	2.4	0.5	1.0	16.0	0.2	1.0	0.0	0.0	0.0	6.5	0.3	0.3	0.2	3.0	3.5	0.5	2.07

ヘルパンギーナ

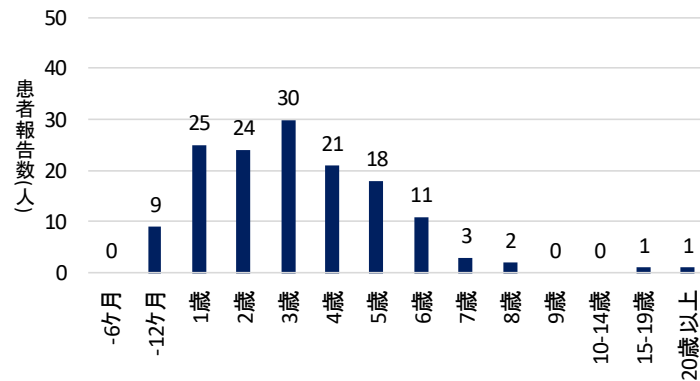


定点あたり患者報告数(人/定点)	色
2未満	
2以上6未満	
6以上	

2023年第31週

年齢階級別患者報告数

定点からのヘルパンギーナの
年齢階級別患者報告数(第31週)



◆2023 年第 31 週 患者報告数（疾病区別）、定点あたり患者報告数（疾病区別）、年齢階層別患者報告数（疾病別）

患者報告数(名古屋市)

2023年第31週(2023年7月31日～8月6日)

疾患 \ 区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	計	前週比	過去比※
★ インフルエンザ			7	6	5	1	1			2	2	12	3	4	3		46	1.4	23.0
★ 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	53	64	64	90	104	73	126	50	39	106	82	110	63	88	38	38	1188	0.9	
○ RSウイルス感染症	4	1	7	11	5	3				4		4	13	2	14		68	1.0	0.9
○ 咽頭結膜熱			2	7		6				1		6		3	4		29	0.8	3.0
○ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	1	1	14	3	9				1	3	1	4	4	15	2	61	1.0	3.3
○ 感染性胃腸炎	7		10	14	16	8	10			11	5	3	5	23	4	6	122	0.9	1.2
○ 水痘						2								1	1		4	0.6	1.7
○ 手足口病		1		2								1	1		4		9	0.9	0.1
○ 伝染性紅斑													1				1		1.0
○ 突発性発疹	1	1													1		3	0.5	0.2
○ ヘルパンギーナ	12	2	5	64	1	4				26	1	1	1	12	14	2	145	0.8	6.0
△ 流行性耳下腺炎			1											1			2	0.7	2.0
△ 急性出血性結膜炎																	0		
△ 流行性角結膜炎								1	1					2			4	1.3	4.0
◇ 細菌性髄膜炎																	0		
◇ 無菌性髄膜炎				2													2		
◇ マイコプラズマ肺炎																	0		
◇ クラミジア肺炎																	0		
◇ 感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)																	0		
計	80	70	99	208	134	106	137	51	40	151	93	138	91	140	98	48	1684		
※過去3年の同週の平均値との比																			
★ インフルエンザ/COVID-19 定点数	5	4	5	4	5	4	5	5	4	4	4	4	5	4	4	4	70		
△ 小児科定点数	5	4	5	4	5	4	5	5	4	4	4	4	5	4	4	4	70		
△ 眼科定点数	1		1	1	1		1	1	1			1		1	1	1	11		
◇ 基幹定点数			1				1			1							3		
★○△◇は定点種別を示す。セルは、該当疾病の定点医療機関のない区を示す。																			

定点あたり患者報告数、および流行警報・注意報発生状況(名古屋市)

2023年第31週(2023年7月31日～8月6日)

疾患 \ 区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	平均
★ インフルエンザ			1.4	1.5	1.0	0.3	0.2			0.5	0.5	3.0	0.6	1.0	0.8		0.66
★ 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)																	16.97
○ RSウイルス感染症	0.8	0.3	1.4	2.8	1.0	0.8				1.0		1.0	2.6	0.5	3.5		0.97
○ 咽頭結膜熱			0.4	1.8		1.5				0.3		1.5		0.8	1.0		0.41
○ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.6	0.3	0.2	3.5	0.6	2.3				0.3	0.8	0.3	0.8	1.0	3.8	0.5	0.87
○ 感染性胃腸炎	1.4		2.0	3.5	3.2	2.0	2.0			2.8	1.3	0.8	1.0	5.8	1.0	1.5	1.74
○ 水痘						0.5								0.3	0.3		0.06
○ 手足口病		0.3		0.5								0.3	0.2		1.0		0.13
○ 伝染性紅斑													0.2				0.01
○ 突発性発疹	0.2	0.3													0.3		0.04
○ ヘルパンギーナ	2.4	0.5	1.0	16.0	0.2	1.0				6.5	0.3	0.3	0.2	3.0	3.5	0.5	2.07
△ 流行性耳下腺炎			0.2											0.3			0.03
△ 急性出血性結膜炎																	
△ 流行性角結膜炎								1.0	1.0					2.0			0.36

警報対象疾患	流行発生警報		流行発生注意報 基準値
	開始基準値	終息基準値	
インフルエンザ	30	10	10
新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	-	-	-
RSウイルス感染症	-	-	-
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
突発性発疹	-	-	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

流行警報・注意報について

■ **太字の数字** は流行発生警報

■ **斜体の数字** は流行発生注意報

■ 警報及び注意報の発生は、厚生労働省の感染症発生動向調査における警報発生システムの基準値(左表)に準拠しています。なお基準値は、変更される場合や当センターの判断で、独自の設定に変更する場合があります。

■ この警報及び注意報は、感染症発生動向調査に関わる専門家の対策立案を支援するためのものです。詳しい目的、利用法等については当情報センターにご連絡ください。

* 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の区別定点あたり患者報告数は計上しておりません。

年齢階層別患者報告数(名古屋市)

2023年第31週(2023年7月31日～8月6日)

疾患 \ 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
インフルエンザ			1	1	3	4	11	8	1	1	1	3	1	2	2	2	3	1	1	
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	11	19	23	21	12	15	16	13	13	11	9	64	51	159	160	147	143	131	67	103

疾患 / 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20歳以上
RSウイルス感染症	9	10	17	14	10	5	1	1			1			
咽頭結膜熱		3	8	4	2	3	4							1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			4	5	9	9	12	6	3	3	2	4		4
感染性胃腸炎	2	5	7	14	12	13	5	5	2	6	4	12	1	34
水痘						2		1			1			
手足口病			1	4	1	1	1			1				
伝染性紅斑					1									
突発性発疹			2		1									
ヘルパンギーナ		9	25	24	30	21	18	11	3	2			1	1
流行性耳下腺炎						1	1							

疾患 / 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上
急性出血性結膜炎																			
流行性角結膜炎							1							1	1		1		

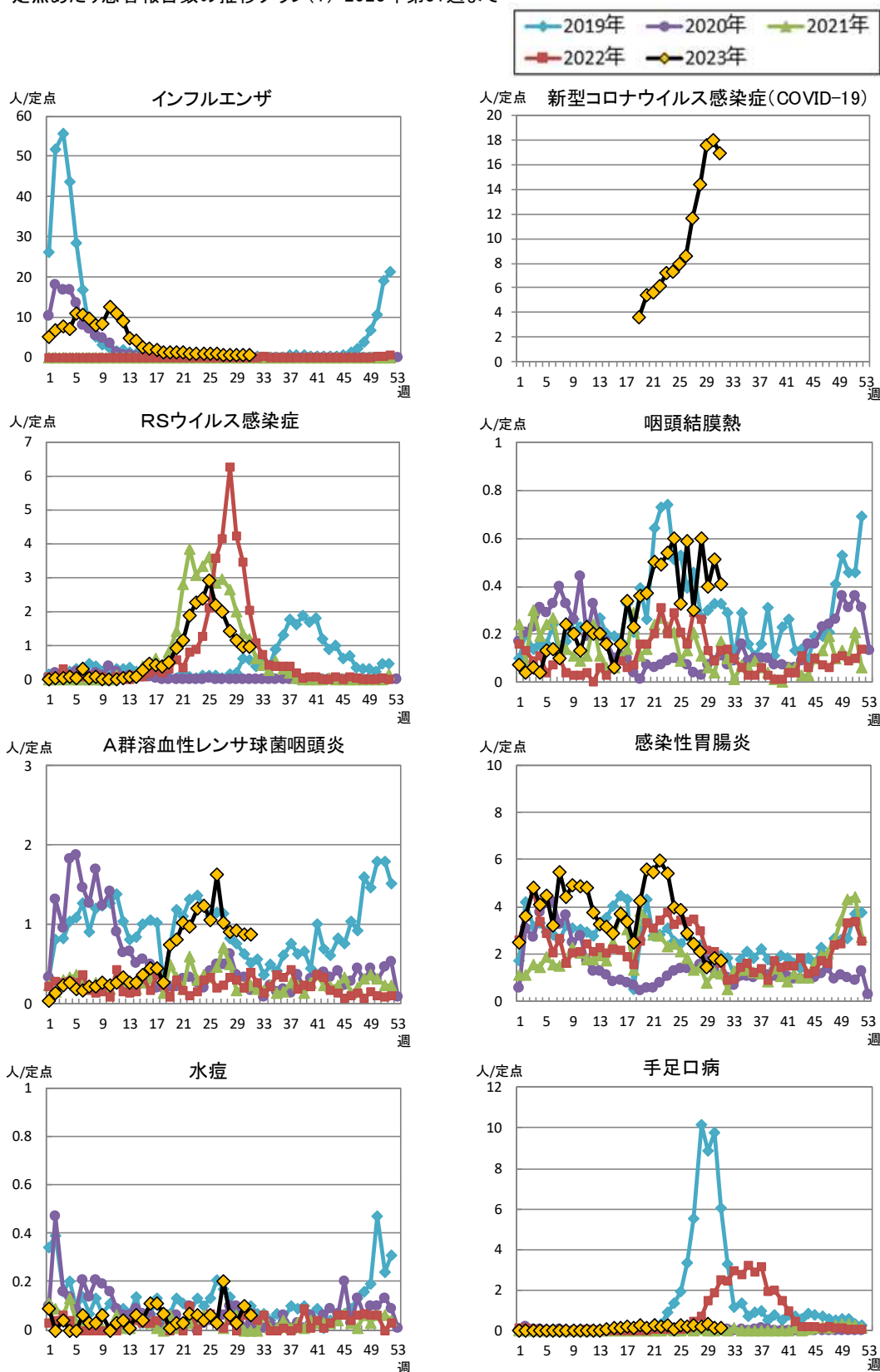
疾患 / 年齢階層	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
細菌性髄膜炎																
無菌性髄膜炎			1	1												
マイコプラズマ肺炎																
クラミジア肺炎																
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)																

患者報告数および定点あたり患者報告数の推移(名古屋市)

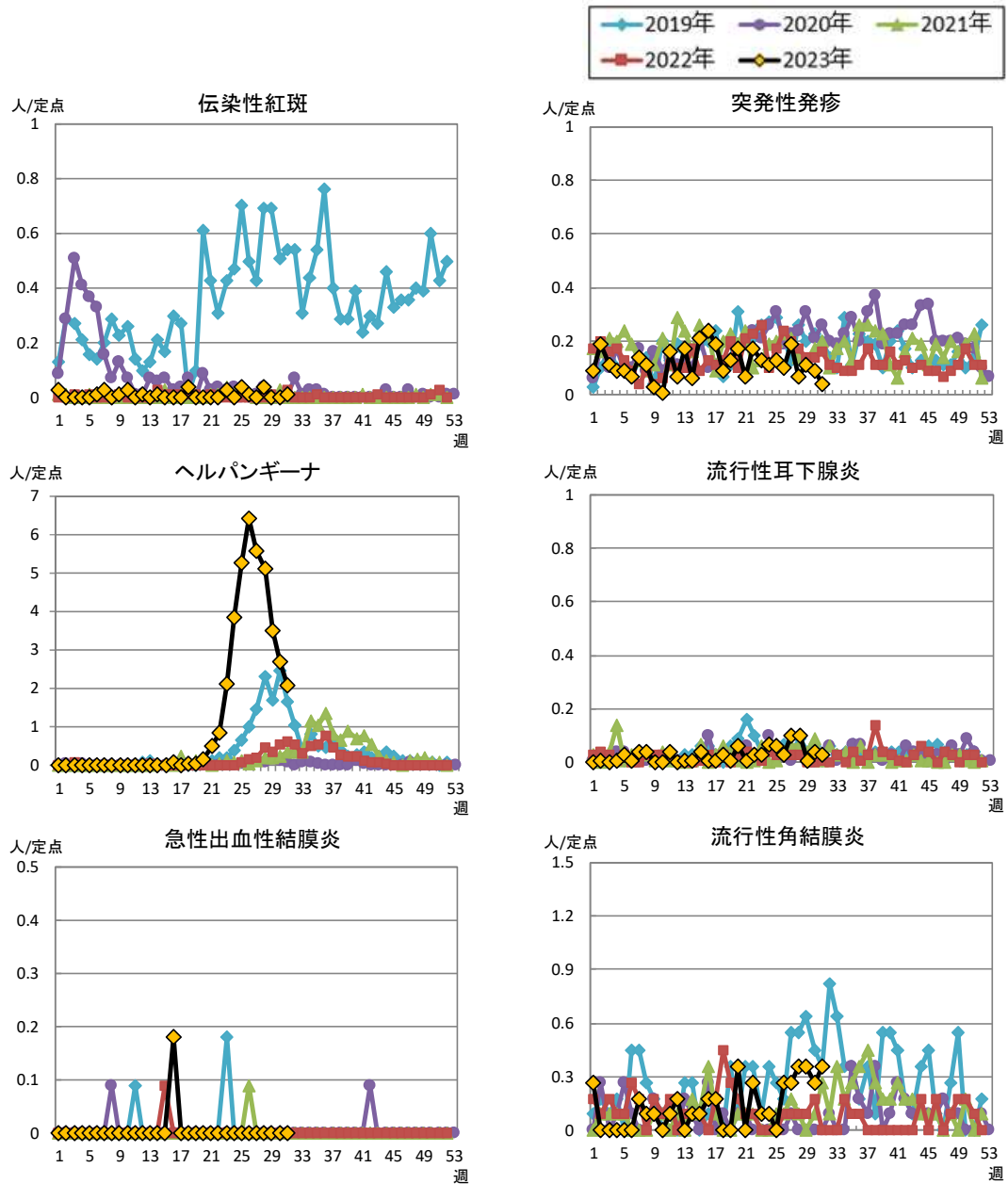
疾病名/調査週		第22週 (5/29～ 6/4)	第23週 (6/5～ 6/11)	第24週 (6/12～ 6/18)	第25週 (6/19～ 6/25)	第26週 (6/26～ 7/2)	第27週 (7/3～ 7/9)	第28週 (7/10～ 7/16)	第29週 (7/17～ 7/23)	第30週 (7/24～ 7/30)	第31週 (7/31～ 8/6)
インフルエンザ	患者報告数	64	62	63	71	60	56	45	46	34	46
	定点あたり患者報告数	0.91	0.89	0.90	1.01	0.86	0.80	0.64	0.66	0.49	0.66
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	患者報告数	433	505	509	556	604	816	1011	1229	1261	1188
	定点あたり患者報告数	6.19	7.21	7.27	7.94	8.63	11.66	14.44	17.56	18.01	16.97
RSウイルス感染症	患者報告数	132	159	168	206	153	140	99	81	67	68
	定点あたり患者報告数	1.89	2.27	2.40	2.94	2.19	2.00	1.41	1.16	0.96	0.97
咽頭結膜熱	患者報告数	34	38	42	23	41	21	42	28	36	29
	定点あたり患者報告数	0.49	0.54	0.60	0.33	0.59	0.30	0.60	0.40	0.51	0.41
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	患者報告数	68	85	86	74	114	72	64	65	61	61
	定点あたり患者報告数	0.97	1.21	1.23	1.06	1.63	1.03	0.91	0.93	0.87	0.87
感染性胃腸炎	患者報告数	417	378	278	273	201	170	146	101	129	122
	定点あたり患者報告数	5.96	5.40	3.97	3.90	2.87	2.43	2.09	1.44	1.84	1.74
水痘	患者報告数	5	4	3	4	2	14	4	2	7	4
	定点あたり患者報告数	0.07	0.06	0.04	0.06	0.03	0.20	0.06	0.03	0.10	0.06
手足口病	患者報告数	16	18	7	18	15	18	16	23	10	9
	定点あたり患者報告数	0.23	0.26	0.10	0.26	0.21	0.26	0.23	0.33	0.14	0.13
伝染性紅斑	患者報告数	0	2	0	3	1	0	3	0	0	1
	定点あたり患者報告数	0	0.03	0	0.04	0.01	0	0.04	0	0	0.01
突発性発疹	患者報告数	12	9	8	9	7	13	5	8	6	3
	定点あたり患者報告数	0.17	0.13	0.11	0.13	0.10	0.19	0.07	0.11	0.09	0.04
ヘルパンギーナ	患者報告数	60	148	270	368	448	389	358	245	189	145
	定点あたり患者報告数	0.86	2.11	3.86	5.26	6.40	5.56	5.11	3.50	2.70	2.07
流行性耳下腺炎	患者報告数	2	2	5	4	2	7	7	1	3	2
	定点あたり患者報告数	0.03	0.03	0.07	0.06	0.03	0.10	0.10	0.01	0.04	0.03
急性出血性結膜炎	患者報告数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	定点あたり患者報告数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	患者報告数	3	1	1	0	3	3	4	4	3	4
	定点あたり患者報告数	0.27	0.09	0.09	0	0.27	0.27	0.36	0.36	0.27	0.36
細菌性髄膜炎	患者報告数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	定点あたり患者報告数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	患者報告数	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	定点あたり患者報告数	0	0.33	0	0	0	0	0	0	0	0.67
マイコプラズマ肺炎	患者報告数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	定点あたり患者報告数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クラミジア肺炎	患者報告数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	定点あたり患者報告数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	患者報告数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	定点あたり患者報告数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

◆インフルエンザ/COVID-19定点・小児科定点・眼科定点医療機関からの
定点あたり患者報告数の推移グラフ(1) 2023年第31週まで



◆インフルエンザ/COVID-19定点・小児科定点・眼科定点医療機関からの
 定点あたり患者報告数の推移グラフ(2) 2023年第31週まで



◆ 基幹病院定点月報の集計結果〔2023 年 7 月分〕

基幹定点数：3（北区、昭和区、中川区）

表1.基幹定点報告、区別患者報告数(名古屋市)

2023年7月

疾患 / 区	北	昭和	中川	計
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1			1
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症				0
薬剤耐性緑膿菌感染症				0
計	1	0	0	1

表2.基幹定点報告、年齢階級別報告数(名古屋市)

2023年7月

疾患 / 年齢階級	0-9	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-89	90歳-	計
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症										1	1
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症											0
薬剤耐性緑膿菌感染症											0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1

◆ 性感染症について〔性感染症定点把握、2023 年 7 月分〕

性感染症定点数：15（泌尿器科系：8、産婦人科系：7）

報告された患者数を性別でみると、男性では性器クラミジア感染症、淋菌感染症、尖圭コンジローマ、性器ヘルペスウイルス感染症の順に多く、女性では性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症の順に多く報告がありました。今月の性感染症の報告数は男性 161 人、女性は 40 人でした。（表 2、図 1 参照）

2023 年 7 月分を年齢階級別に見ると、男性の性器クラミジア感染症では 15 歳以上の全ての年齢階級で報告があり、性器ヘルペスウイルス感染症では 15 歳から 29 歳および 35 歳から 44 歳、50 歳以上の年齢階級で報告がありました。また尖圭コンジローマでは 20 歳から 39 歳および 45 歳から 49 歳、55 歳以上の年齢階級で報告があり、淋菌感染症では 15 歳から 49 歳および 55 歳以上の年齢階級で報告がありました。女性では性器クラミジア感染症は 15 歳から 34 歳の年齢階級で報告があり、性器ヘルペスウイルス感染症は 20 歳から 29 歳および 35 歳から 39 歳、45 歳から 49 歳、55 歳以上の年齢階級で報告がありました。また尖圭コンジローマでは 15 歳から 39 歳および 45 歳から 49 歳の年齢階級で報告があり、淋菌感染症は 15 歳から 24 歳および 45 歳から 49 歳の年齢階級で報告がありました。

（表 2、図 2 参照）

表1.性感染症区別患者報告数(名古屋市)

2023年7月

疾患 / 区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	太白	計
性器クラミジア感染症	1		15	1	1	46	12	1		10	3			7			97
性器ヘルペスウイルス感染症			4	2	1	13	5	1		1						2	29
尖圭コンジローマ			10		3	7	2			3	4					1	30
淋菌感染症	1		11			16	4			10				3			45
計	2		40	3	5	82	23	2		24	7			10		3	201

STD 定点数	1		2	1	1	2	1	1		1	1	1		1	1	1	15
---------	---	--	---	---	---	---	---	---	--	---	---	---	--	---	---	---	----

のセルは、該当疾病の定点医療機関のない区を示す。

表2.性感染症年齢階級別患者報告数(名古屋市)

2023年7月

疾患 / 年齢階級	性別	0-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55歳-	計
性器クラミジア感染症	男性		9	21	10	11	11	7	2	2	5	78
	女性		2	12	4	1						19
性器ヘルペスウイルス感染症	男性		1	6	4		2	1		2	4	20
	女性			2	2		2		2		1	9
尖圭コンジローマ	男性			5	4	1	2		6		4	22
	女性		1	3	1	1	1		1			8
淋菌感染症	男性		5	10	10	5	6	1	1		3	41
	女性		1	2					1			4
計	男性		15	42	28	17	21	9	9	4	16	161
	女性		4	19	7	2	3		4		1	40

図1. STD各感染症が総報告数に占める割合(2023年7月)

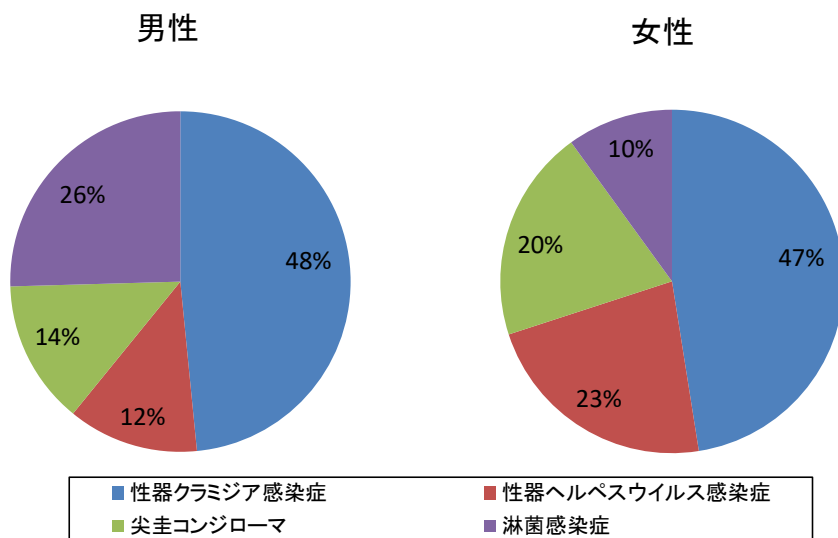


図2. 各STDの性別・年齢階級別の定点あたり報告数(2023年7月)

